2017年1月31日発行
発行
社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話(23)2827
振込口座 01930-2-20748
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1−7 電話(21)0505

子どもに仕える養育を目指す

児童養護施設 江口敏一

子は子宝と昔から言い伝えられてきました。子どもの力は小さいのですが、これからの社会を造る大きな力を持っております。巨木の苗木のようなものです。また、子は親の鏡と申します。子どもたちは身近な大人の生きざまを学習しつつ育ちます。私たちが、どのような社会を目指して生きているのかが問われているのです。児童憲章の最後にある「すべての児童は、愛とまことによって結ばれ、良い国民として人類の平和と文化に貢献するように導かれる」とはどのようにすることかが具体的にイメージできてはじめて子どもを導くことができるのです。

私たちの生きざまの中に、自分の養育能力というものを一体どこまで伸ばせるものなのか、おかれた場所で、子どもたちと対峙する中で、一生かけて挑戦してみようという自己実現の決心があるか問われているように思うのです。

栄光園は、家庭で子どもを育てることが困難なために助けを必要としている子どもと家庭の支援を子どもたちが在園中から巣立った後まで行い続ける児童福祉の事業を行っております。これらの子どもと家族に対して、私たちには習得した知識と技術を仕える姿勢で取り組む専門性が求められています。

「仕える」は英語ではサービスという言葉がそれに当たります。サービスという言葉は『礼拝』をも意味します。実際、この言葉は辞書で、第一番目に「奴隷になること」とあります。今の世に奴隷制度はありませんが、奴隷は一切の自由、また、命までも主人に奪われている存在です。私有物は一切なく、過酷な労働を強いられ、しかも無報酬という、これが奴隷の実像です。

サービス・「仕える」ということが「奴隷になる」ということですから、安易に「仕える」という言葉を口にすることはできないくらい重い言葉だということです。

でも私たちは「仕える」のです。そのような厳しさがこの職業につく者に要求されているということを心に留めなければなりません。隣人に仕えることは何かの犠牲なくしてできません。愛の実践のためには、時には自分のしたいことを捨て、自分のしたくないことをしなくてはならないこともあります。他者を愛するために何かを喜んで捨てることなしに「仕える」ことはできないのです。

栄光園は子どもに「仕える」養育を目指しています。そこに必要とされることは「優しさ」であり「あたたかさ」であり「思いやり」です。子どものために自分のしたいことを我慢したり、体調が良くないのに笑顔で対応し、忙しい時イライラしている時でも笑顔を忘れないことは、簡単なようで実際にはなかなか難しいことなのです。でも私たちはそうしようと努めるのです。

なぜ、私たちは、自分たちより小さな、年下の子どもたちに「仕える」のでしょうか。それは、神様が子どもたちひとり一人を愛するために神様に似せて創られた被造物だからです。子どもたちの中に神様の似姿を見るのです。養育の困難な子どもたちと対峙するとき、私たちはその子どもの中に私たちの養育の専門性を高めようとされている「先生」としての神の愛を見るのです。私たちは子育てに携わる中で、子育ては子どもが私たちを育ててくださっていることに気づかされるのです。このことは自分と出会うすべての方々が私の「先生」ということです。

まことに感謝です。

あけまして おめでとうございます

いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。

本年も相変わりませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2017年 正月

社会福祉法人 栄光園 理事長 友永 丈一
児童養護施設 栄光園 施設長 江口 敏一
乳児院 栄光園 施設長 熊谷登喜子
青山保育所 所長 小久保次郎
野口保育所 所長 本庄 智宏
職員一同

児童養護施設

受験生の冬休み ～ウエストホーム～

児童指導員　大野　将也

今年度、ウエストホームには高校受験を控えた中学３年生の男児が２名在籍しており、それぞれ公立高校合格に向け、日々学習に励んでいます。

冬休みは受験目前の長期休みであり、集中した学習時間を確保ができます。しかし、クリスマスやお正月など、冬休み中には子どもたちにとって楽しい行事が数多くあります。

当施設でもクリスマス祝会や、自衛隊、ライオンズさんによる餅つき奉仕、正月のおせち料理などの行事がありました。

「受験生にはクリスマスも正月もない」とは言いますが…受験生も一緒に行事に参加し、クリスマスメニューに「こんな豪華な料理は初めてや！」と感動したり、初詣で引いたおみくじの結果に一喜一憂したりと、それぞれに季節ならではの行事を楽しんでいました。

楽しいことばかりで、学習に対するモチベーションも下がってしまい、集中して学習に取り組めないこともありましたが…メリハリをつけて、しっかりと学習に取り組むようにと何度も言い続け、受験への気持ちが途切れないように振起させてきました。

最近は、環境を変えて集中して勉強に取り組めるよう、集会室や会議室にて学習に取り組んでいますが、通りかかる多くの職員から、励ましの言葉を掛けられ、見守られ、受験生にとっては大きな力になっているのではないかと思います。

いよいよ高校受験も目前となり、子どもよりも職員の方が焦りを感じていますが、努力の成果が十分に発揮できるよう応援し続け、３月には笑って一緒に桜の花を眺められるようにと願っています。

クリスマス祝会に感謝

保育士　三重野　慶子

総合責任者をさせて頂いた三重野です。

大舎制の時代、12月の第３土曜日のクリスマス祝会は、子どもたちが家庭で祝うクリスマスに替わるものでしたが、小規模化した今は、いつもお世話になっているたくさんの方々、入所児の家族の方、また、卒園生たちと共にクリスマスをお祝いするひと時と捉えています。そして12月24日、25日は６軒のホーム毎に自由な自主献立で家庭的なイエス様のご降誕をお祝いするクリスマスとなるのです。

この17日の祝会には歳末の大変寒くお忙しい中１００名を超える皆さんにご参加いただくことが出来ました。心から感謝申し上げます。

毎年、行われているクリスマス祝会。12月が近づくと「今年は何をするん？」と気にかける子どもたちもふえてきました。１か月という短い準備期間の中で、来て下さる方々と共にクリスマスを祝うためにと、遊ぶ時間を減らし、練習に取り組んでまいりました。イエス様ご降誕の聖劇は栄光園の伝統として引き継がれ、礼拝と共に祝会の中心的な存在となっております。出演は、もちろん子どもたちが中心ですが、幼児さんなどにも伝わりやすい演技として工夫しております。また、サプライズとして来訪者である白沢史子さん率いる大分チェロ軍団の演奏や渡辺真夫さんのＤＶＤメッセージなどもあり、子どもたちにとっても印象深い時間となったのではないかと思います。

食事会は頑張った子どもたちには、来訪者との交流も含め、豪華で楽しいときとなりました。フルーツなど子どもの希望も含め、クリスマスを祝うのにふさわしいものになるよう栄養士を中心に考えました。多くの支援者、保護者の方々にも参加していただき、長時間になりましたが、頑張った子どもたちにとっても心に残るひと時となったことでしょう。

クリスマス祝会をするにあたり、人とのつながりや多くの方に支えられ、助けて頂いていることを改めて感じることが出来ました。この祝会を支援し、参加して下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

児童養護施設の家庭支援とは

総主任／家庭支援専門相談員　岡田　豊弘

子どもと家族をめぐる社会的な課題が、さまざまな形で顕在化している今の社会。「子どもへの虐待」「家庭内暴力（ＤＶ）」「子どもの貧困」など、その課題に対応すべく「児童虐待の防止等に関する法律」や「子どもの貧困対策防止等に関する法律」など法整備や制度改革も実施されてきました。課題解決や支援に向けた、行政や福祉施設、ＮＰＯなど民間団体の取組も多く行われていますが、その具体的な内容が広く理解されるとは言い難いです。

児童養護施設もその一つであり、子どもと家族をめぐる社会的課題の中で要保護される子どもの最終的な受け皿としての機能を持っています。そして、子どもたちのＷｅｌｌ－ｂｅｉｎｇを充分保障することが本来の我々の支援課題であり、子どもが受けた身体や心の傷を癒し、周りの大人や保護者に対する信頼を回復させ、独立した人格と主体性を尊重し、様々な要因により停滞していた育ちを保障することが我々の使命であります。よって施設は、子ども一人ひとりのニーズに対応したきめ細かで多面的な援助、一人一人の自立を支援する場として機能する必要があります。具体的には「養育支援」、「家庭支援」、「自立支援」の援助技術（ソーシャルワーク）の充実が求められるのです。

近年、児童養護施設に入所している子どもたちの多くには親がおり、虐待や親の離婚、精神疾患等、さまざまな家庭環境があります。家族が存在し、家族交流、家族再統合を検討するにも細やかな家族間の調整が必要な家庭が多いのです。そのため、親子の家庭再統合に向けたケアワーク、治療、ソーシャルワーク機能を持った治療システムの確立や入所から退所後に至るまで総合的に家族調整を中心的に担う家庭支援専門相談員の役割が問われています。

私は長い間、子どもが施設に入所する初めての「その日」に立ち合っています。子どもにとっては、絶対忘れられない「その日」であり、施設で初めて見る「その日」の職員であります。私は「いらっしゃい、よく来たね！」と必ず伝え、迎え入れます。そして、保護者には、「大切にお預かりします。安心してください」と言ってお帰りになって貰うのです。大切な「その日」の大切な支援の一つであります。しかし、この繰り返しを一体、どこまで続けて行くのだろうかといつも嘆いてしまうのです。

『施設に受けいれ子どもがどれだけ増えたとしても、われわれが本質的に果たすべき仕事は子ども一人一人の「いのちの状態」に深く関わり、その一人一人をいかに豊かで自立した人格として育むことができるか否かでしかありえない。』私が尊敬する、「家族の再生」の著者、菅原哲男の一文です。

乳児院

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年末、乳児院はＲＳウイルスが蔓延し、ほとんどの子どもがかかってしまい、小さい子は入院をするなどで、年末年始を全員で過ごすことができませんでした。今ではすっかり回復し、乳児院も元気な声が聞かれるようになりました。今年も子どもが元気で、笑顔があふれるように、職員一同頑張っていきたいと思います。

クリスマスプレゼント

毎年12月に差しかかる頃になると、職員たちは、担当の子どもへのプレゼント選びに頭を悩ませています。「このおもちゃなら、遊んでくれるかな？」「これで遊んでほしいな」など色々な願いをこめて、準備をしていきました。

子どもたちは25日にそれぞれサンタさんよりプレゼントをもらいました。ラッピングされている状態では良く分からない様子でしたが、目の前で開けて見せると「わー」と言わんばかりに目を輝かせておもちゃを手にとっていました。さっそく部屋に持って帰り、嬉しそうに遊ぶ姿をみて、職員は「喜んでくれて良かったな」という思いと、子どもたちの笑顔にとても幸せな気持ちになりました。さて、来年はどんなおもちゃにしようかな？（ちょっと気が早いかな？）

お正月

その１ お年玉

お正月に院長から、お年玉をもらいました。子どもたちは中身はよくわからないのですが、何かもらえるということは分かっているようで、手を伸ばしてもらっていました。一通りもらって、「じゃあ、一回預かるね」と回収しようとしたところ「いやぁ～」と泣きだしてしまう子もいました。やはり、自分の物ということはわかっているのですね。このお年玉で、子どもたちは職員と買い物に行く予定です。

その2 初詣

年末に体調を崩す子どもたちが多かったので、計画はしていたものの、はたして行けるかなと心配していたのですが、年始には回復したので、うさぎ組、ぞう組の子どもたちは、神社に初詣に行きました。お参りをしたり、おみくじをひいたりと初めて経験することばかりで目をキョロキョロさせていました。今年も健康でいられますように…。

その3 凧あげ

うさぎ組、ぞう組はグラウンドで凧あげをしました。最初に職員があげてみせると、「ぼくも」「わたしも」というようにそれぞれ凧を手に持っていました。まだちょっと難しいかな?と言う様子でしたが、職員に凧を持ってもらって、ちょっぴり凧をあげた気分になった子どもたちでした。

青山保育所

秋のさんま祭り

秋のさんま祭りがありました。当日は生憎の雨で園庭にて会食することはできませんでしたが、2歳児はクッキングをしたり、1歳児は玄関前でさんまを焼いているところを見学したりしました。

2歳児は前日にクッキングをすることを伝えていたこともあり、登園してくるなり、「クッキングするの?」と聞いてくる姿も見られました。当日は、エノキ・シメジ・マイタケの3種類を使い、実物を見たり、手で触れたり、においを嗅いでみたりしながらさいていきました。細かく一つ一つ丁寧にさいている子もいれば、傘の部分をちぎっていたりする子もいました。初めてエプロンや三角巾を身に付けてお手伝いが出来たことに子どもたちはとても嬉しそうでした。今後も機会があればクッキング活動をしていきます。

ぞう組のお手伝い

ぞう組のお友だちもクッキングを通してお手伝いする役割がありました。ぞう組2年生のお友だちはニンジンや大根をピーラーや包丁を使って食べやすい大きさに切ること、ぞう組1年生のお友だちは白菜やネギを食べやすい大きさに手でちぎることでした。

ぞう組2年生のお友だちはピーラーや包丁を使うときの注意点を聞いて真剣な表情で野菜の切り込みをしていた姿が印象的でした。ぞう組1年生はネギを手でちぎっている時に、「ネギがくさい」「なんかぬるぬるする」と実際に触れたり、匂ったりすることで気付くネギの特徴を興味深そうに友だちと話し合っていました。その他ラップを使っておにぎりを作ったり、炭火で焼かれているさんまを見学したりして普段の保育ではできない貴重な体験ができました。お友だちみんなで手伝った給食は何度もおかわりをするほどおいしかったようで、「このニンジン、ぼくたちがきったんで!」「ネギ、くさかったなぁ」とお友だちと楽しそうに話しながら食べている子どもたちの姿が微笑ましかったです。

指差しは…

1歳5カ月のTくんが、壁面のどんぐりを指差して保育士に何か言いたそうにしていました。保育士が「どんぐりさんだね」と♪どんぐりころころの歌を動作つきで歌い始めると喜んで保育士の動きを真似し始めました。それからも頻繁に「先生うたって!」と壁面を指差し、保育士と一緒に歌うことを楽しむTくんでした。

そんなことがあってすぐ、園内研修で「言葉」について学ぶ機会があり、0歳児の「指差し」は言葉の発達に必要なプロセスで、生まれて3ヶ月ほどの赤ちゃんが無意識に指を立てる仕草は「指差しの練習」とも言われていると聞き、「人間ってすごい!」と思いました。研修を受けて改めて人間が生きていくうえで必要な言葉の大切さを知り、今、言葉の機能を獲得中の子どもたちの接し方や言葉掛けをもう一度見直します。

気分は探検隊

温かく過ごしやすい日が続き、戸外へ出かけることもできました。南立石公園へ行き、ドングリやマツボックリ、きれいに色づいた落ち葉を拾ったり、野口原児童公園へ行き、大型遊具で遊んだりすることが出来ました。河川敷を歩いたり公園を歩いたりする時、子どもたちの気分は探検隊！　公園の木が立ち並ぶところではオオカミかおばけが出てくるかもしれないとそろ～り、ゆっくりと歩いたり、河川敷では隊長(保育士)の後を元気に走ったり、楽しみながら歩いたりと、自然の中で友だちや保育士とイメージを共有し、それを楽しむ姿に3歳児らしい面白さを感じました。

きりん組探検隊は体力面でも成長しました。4月、5月に比べ足取りも軽く、「つかれた～」という声も少なくどんどん歩く姿がとてもたくましくなりました。寒くなると戸外へ出かける機会が減りますが、また暖かくなればたくさん戸外へ出かけ、自然の中で遊ぶ楽しさを感じてもらいたいです。

聖書の言葉

「迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。」

マタイによる福音書18章12節

青山保育所　小久保　次郎

長崎の雲仙の温泉郷にキリスト教徒の受難慰霊碑が立っています。貴、キリシタン迫害が時の権力者によって行われ、信徒たちが棄教しなければ温泉の熱湯に入れる迫害が雲仙で行われました。信徒たちはその権力者から棄教を迫られました。その命の危機的状況に勇気をもって立ち向かい、そして信仰者たちは死をもって信仰を貫きました。キリスト教初代教会時代も、キリスト教信仰者に対してローマ帝国より迫害が続き、信仰者は信仰の継続の危機を迎えていました。ポーランドの作家ヘンリク・シェンケヴィッチの小説『クオ・ヴァディス』はキリスト教迫害を写実的に描いています。こうした緊迫状態で棄教したり、隠れたりした信仰者も多かったのです。キリストの弟子たちですらそうでありました。キリストは信仰を喪失した信徒たちを、捜しに行きなさいと言っておられるのです。これは信仰の問題だけではないのです。社会的弱者、貧困者、病気、疎外された者、に対してキリストは実に温かい眼差しをもっておられます。

この聖句の第一点は、疎外された者、また疎外されゆく人々に対して、神は、そしてキリスト者は、その人を捜しに行くということです。迷い出るというのは相対的なありようかもしれません。迷い出たのは一匹ではなく、九十九匹かもしれないのです。イエスの弟子たちは、みなイエスを見捨てて逃げてしまいましたから全員迷い出たことになります。そのような状況でキリストは迷い出た一人一人を捜しにいかれるのです。

次にこの聖句の第二点を考えてみましょう。それは迷い出た羊の存在を、子どもとして考える見方です。戦火による戦災孤児、いじめや育児放棄にあった子どもたち、大人の奴隷となっている子どもたち、与えられるべき愛から遮断されている愛に飢えた子どもたち、成績でもって選別されていく子どもたち、病気、障害をもつ子どもたち、さまざまな阻害状況に置かれた子どもたちへのまなざしが、この聖句にはあります。子どもが自らの意思で迷い出ることをやむにやまれず選択した場合も考えられますし、群れから排除され追放された状況もあります。イエス・キリストは子どもを神の国の構成員として考えておられます。イエスは子どもを第一に考えています。この視点を私たちもまず原点のおくべきではないでしょうか。旧約聖書創世記によりますと人類の始祖アダムは神の国エデンの地の維持管理を任されるために神によって創造されました。神にとって役に立つ者としての価値づけ意味づけをもって人類は創造されたことになります。しかし、イエスの眼差しは、たとえ神の国にとって無価値な人間をもまず第一に大事にするという大事な視点があります。現代は社会全体が高機能化、高効率化、高知識化の時代です。人間一人一人が分断され、ネット社会にのみ真実があるかのように感じられる時代です。そんな中で、迷い出た一匹のみならず百匹全部迷い出てくる可能性も出てきます。迷い出た先で安住していることもあります。疎外された状況を当たり前として、そして群れへ戻ることも拒否する自由をも人間は手にしています。疎外される喜びさえ感じているのかもしれません。群れのなかにいる不自由さから解放された喜びを感じているともいえましょう。それでも私たちは神から遮断されずに愛されています。神は私たちを捜し続ける存在です。

サツマイモを収穫

きりん組で育てていたサツマイモを収穫しました!!　待ちに待ったので忘れてしまっているお友だちもいました。中にはいつも気にかけていて「きょう、みずやってないよ!」「まだ、いもできんの?」と楽しみに待つ姿もありました。

いよいよ収穫の日。グループごとに分かれて2袋ずつ「うんとこしょ!」の掛け声で蔓を引っ張りました。すると小さいものから大きなものまでしっかりとサツマイモになっているではありませんか!　葉っぱがなかなか大きくならず、順調に育っているか心配だったのですが、一人一個ずつは収穫することができました。子どもたちは自分たちで掘り出したいろいろな形の芋を友だち同士で見せ合ったり、大きさなど見比べていました。身近な袋と土だけでお芋が出来ており、初めての試みではありましたが成功してよかったです。子どもたちも蔓が伸びていく成長を見られたり、葉っぱ目当てにやってくるバッタに喜んだり、当番ごとに水やりを頑張ってくれたりといい経験になりました。サツマイモはしばらく寝かせることで甘みが出てくるそうなので、給食室で寝かせてもらうことに。甘くなった頃にみんなで食べたいです。

野口保育所

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いします。
昨年の秋から冬にかけての行事を、少しずつですがご紹介したいと思います。

親子バス遠足

食育の一環として6月に3・4・5歳児と一緒に農業文化公園にて芋の苗植えをしてから4ヶ月…。
親子や友達と一緒に大型バスに乗って芋ほりに行きました。立派なお芋も多く掘りごたえがありました。その後は公園で遊んだりお弁当を食べたりと天気にも恵まれ楽しい1日になりました。

保育参観

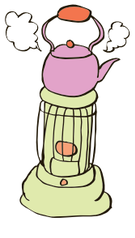
11月に行われた保育参観では、食欲の秋や芋ほり後という事もあり「収穫祭」というテーマで行いました。大きいクラスはクッキングに取り組み、小さいクラスはお芋などを使った制作や遊びをしたり園庭では園長先生が旬な『さんま』を焼いているのを見たり、匂いをかいだり…そしてみんなで食べて、美味しい保育参観になりました。

もちつき

毎年恒例の「餅つき」…毎年つきてに5名ほど保護者（お父さん）の方々がお手伝いに来てくれます。
「ぺったんこ～ぺったんこ～お餅を搗きましょ～ぺったんこ～♪」と歌ったり、杵を自分の力で持ち餅を搗いみたり、保護者（お父さん）と一緒に搗いたり丸めて食べたりと楽しい時間を過ごしました。昔ながらの伝統ある餅つきを子どもたちと経験することが出来て、またひとつ楽しい思い出が残りました。

クリスマス会

保育室や廊下・窓に飾られたクリスマス一色の雰囲気に毎年子どもたちは12月になるとソワソワ…♪　当日は、子どもたちが遊ぶコーナーをたくさん作り、好きな場所で沢山遊びました。
そして高崎山から「たかもん」と「たかももちゃん」も遊びに来てくれ、一緒にダンスをしたり、クリスマスのお土産ももらいました。
全クラスで集まってクリスマスランチも食べ、クリスマスを堪能した子どもたちでした。
昨年も沢山の行事があり、子どもたちも職員も楽しく過ごす事が出来ました。



今年度も残り少なくなり1年を締めくくる行事がまだまだ控えていますが、子ども一人ひとりとしっかり触れ合い、子どもたちが毎日楽しく過ごせるように職員全員で頑張っていきたいと思います。
本年もよろしくお願いします。

所長　本庄　智宏
職員一同

社会福祉法改正について

法人本部事務局　桑野　誠

2017年4月1日より改正社会福祉法が完全施行されます。1951年に社会福祉事業法として制定、施行され、2000年に社会福祉基礎構造改革により社会福祉法へと名称が変更され、内容も見直しが行われました。この改正は、多様なサービス提供者の福祉事業への参入を認めるための規制緩和が主な内容でした。
今回、17年ぶりとなる社会福祉法の改正は「社会福祉法人制度の改革」を柱とする大規模な改正となります。
今回の改正の主なところでは、経営組織の在り方の見直しが挙げられます。一例を挙げますと、全ての社会福祉法人に評議員会の設置が義務付けられることになります。それにより、評議員会は、従来までの理事会の諮問機関としての立場から理事会の監督機関としての役割を担うことになります。法人の運営責任は従来通りに理事会となりますが、重要な事項（決算の承認や定款変更等）は最終的に評議員会による承認が必要となります。株式会社で例えるならば理事会が執行役員、評議員会が株主という関係でしょうか。理事会に対しての牽制機能を評議員会が持つことで、理事会への抑止力を働かせ、法人運営の更なる透明化や健全化を図ることになります。
今回の改正は、本年度末までに多くの事項の変更手続きが必要となります。当法人におきましても役員、評議員の方々の多忙なお時間を割いていただきながら理事会、評議員会を適時開催し、一丸となって改正に向けて取り組んでいます。
これからも、地域の皆様やご支援くださる皆様のご期待に沿える法人運営を行うよう全力で取り組んでいきます。今後も皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。
児童養護施設の子どもたちの進学等を重点的に支援する目的で始めた『自立進学資金（栄光園ファミリークラブ）』の枠は上級学校への進学により社会で活躍できる領域を格段に広げる重要なアフターケアだと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。
今年も皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。

【2016年10月1日より2016年12月31日まで】

賛助金

安達　祥子様　別府市
安部　保様　別府市
安部テル子様　大分市
安部　道人様　大分市
伊勢　方信様　別府市
伊藤鮮魚店様　別府市
太田　佳子様　浜松市
岡口　文明様　愛知県
奥川　芳子様　別府市
鎌田　宏子様　神奈川市
神鳥　慶子様　杵築市
木村　洋子様　大分市
㈲コーワ精起様　東京都
小林　美沙様　大分市
貞閑　孝也様　大分市
左保会大分支部様　大分市
立花　旦子様　別府市
田中　司様　別府市
匿名様　別府市

賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌『栄光園だより』を送付させていただきます。

一般寄付

匿名様　別府市
友永　達男様　別府市
永尾　福康様　別府市
日本基督教団北九州復興教会様　北九州市
日本基督教団門司教会様　北九州市
平野八郎・紀美代様　別府市
福田美代子様　大分市
帆足　和生様　別府市
帆足　隆哉様　玖珠郡
堀　直様　西宮市
宮沢　淑子様　大分市
宮本　妙子様　別府市
矢永　尚士様　別府市
山口産業㈱様　別府市
明石　泰信様　別府市
赤嶺　浩子様　由布市
足達　健一様　大分市
飯田　法子様　佐伯市
糸長　慎様　別府市
いとう循環器麻酔科クリニック様　別府市
井上せつ子様　別府市
匿名様　別府市
大分銀行労働組合様　大分市
大宮遊技場組合様　さいたま市
加島　和典様　大分市
亀井　浩様　別府市
㈲工房　輪葉葉様　大分市
三栄建設工業　三浦勲様　大分市
高木　政嗣様　別府市

自立進学資金

安東　秀典様　大分市
匿　名様　別府市
岡口　文明様　愛知県
神鳥　慶子様　杵築市
波多野郁子様　別府市
三浦　勲様　大分市
南　範子様　中津市
村上美知子様　別府市

特別物品寄付

みかん　あけぼの寮　川村宏司様
ラグビーボール・ティッシュ等　㈱アパマンショップネットワーク様
クリスマスケーキ　安部純子様
児童衣類　池田絢子様
ケーキ・玩具　匿名様
お菓子・餅　ヴィーナスギャラリー別府様
早生ミカン　上杉敬三様
三ヶ日みかん　上野貢一様
ぬいぐるみ　上野敏康様
精密玩具　エディオンまるごみ薩摩様
梨　大分県なし研究会　椎原智俊様
米　大分県農業共済組合様

ちはらコーポレーション様　別府市
時枝喜久生様　別府市
匿　名様　別府市
匿　名様　別府市
匿　名様　別府市
匿　名様　別府市
友永　丈一様　別府市
日本競輪選手会大分支部様　別府市
㈲波津久養豚場　阿南卓巳様　臼杵市
疋田　節男様　豊後大野市
プロパートナー様　大分市
別府不老町教会様　別府市
別府不老町教会婦人会様　別府市
別府溝部学園短期大学幼児教育学部様　別府市
松本小児科様　別府市
馬服　幸子様　別府市
みらいしんきん同友会鶴見扇山支部様　別府市

お菓子　㈱大分観光サービス様
衣類　オザキコウノスケ様
まつり食券　偕楽園様
生花　亀川浩様
クリスマスプレゼント　釘宮英子様
本　久坂七夕様
ケーキ・玩具　工藤智美様
衣類・寝具・日用品　河野国弘様
雑巾　佐保会様
クリスマスプレゼント　三栄建設工業　三浦勲様
ガーゼ・タオル　白沢史子様
瓶ビール・りんご食品　杉町圭蔵・千穂子様
衣類　瀬山美恵様
放送設備アンプ・2段ベッド　全日本自動車総運　相原康伸様
女物洋服　染矢貴志様
児童衣類　㈲第一物産様
お菓子　ダイヤモンドやまなみ店様
衣類　高瀬可奈様
オムツ　高橋浩樹様
衣類・チョコレート・食器　武田みちこ様
鉛筆　谷口豊様
クレヨン・スケッチブック・文具　日本中華料理協会様
大人用ショーツ　土谷様
甘納豆　恒久妙子様
クリスマスケーキ　㈲TN保険ひろば様
紅白餅・小豆・砂糖　匿名様
米　匿名様
傘　長尾健治様
洗剤・文具・衣類　中村里子様
お菓子　ユーコー　中村雄二様
文具・バット　ななせ総合事務所　加島和典様
お菓子・米　南光物産㈱様
南瓜・玄米・お菓子　二宮洋典様
鏡餅セット　日本鏡餅組合様
お菓子　日本競輪選手会大分支部様
衣類　日本生命大分支部労働組合様
DVD　日本生命大分支社　横山啓子様
敷き布団・毛布　野口克子様
音合わせお話かるた　畑田明愛菜様
バッグ・ブランケット・玩具など　林静子様
新品布団一式　早田美智子様
タオル・食品・いちご　疋田節男様
餅　ヴィーナスギャラリー別府様
衣類　廣津豊様
ぬいぐるみ　深田敦子様

衣類　藤本幸子様
DVD　㈱プレナスほっともっと様
図書券・ヘアグッズ　kヘアー様
ベップ冬祭り食券　別府まつり振興会様
お菓子・みかん　別府中央ライオンズクラブ様
餅米・黄粉・あんこ・砂糖　別府中央ライオンズクラブ様
花　別府ロータリークラブ様
リース・さつまいも　松川正明様
玄米　三浦俊介様
リンゴ・フルーツジュース　光田加嘉子様
米　本林優司様
津久見ミカン
衣類　弥田和子様
シェアザワールド・DVD　山口産業㈱様
ケーキ　山口香様
コップ・ぬいぐるみ・ショール　山本様
ランドセル(水色)　山本様
服・バック・靴　山本真吾・初美様
クリスマスプレゼント・お菓子　楽天サンタプロジェクト様
餅米・カレーライス・お菓子　陸上自衛隊別府駐屯地様
CD・チケット　渡辺貞夫・山口産業㈱様

餅つき・吹奏楽演奏　陸上自衛隊別府駐屯地様

招待・奉仕

小中学習ボランティア　安東秀典・井上せつ子様
七五三の着付け　エッチ美容室様
七五三の写真　木村写真場様
クリスマスイルミネーション点灯式　㈱大分観光サービス様
ピアノレッスン　奥山靖子様
児童の散髪　kヘアー様
クリスマス祝会讃美歌独唱　フナキ・カイツウ様
クリスマス祝会讃美歌ギター伴奏　宮本健士郎様
クリスマス祝会チェロ演奏　大分チェロ軍団様
クリスマス祝会オセアニア舞踊　APUの学生様
クリスマス祝会ビデオメッセージ　渡辺貞夫様
餅つき　別府中央ライオンズクラブ様
餅つき　別府中央ライオンズクラブ様

社会福祉法人 栄光園 2016年度 10〜12月 職員の動静

採用

10月1日付
乳児院
松井　美穂（助産師）

退職

10月31日付
青山保育所
近藤　美代枝（保育士）

苦情等相談窓口

＊法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。

tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

児童福祉法が昨年5月末改正され、この4月より施行されることになりました。すべての子どもが家族と暮らせる未来を切り開くという画期的な法律になっているそうです。

何らかの理由で親子分離された約4万人の社会的養護を必要とする子どもたちの9割が乳児院や児童養護施設で生活しております。家庭分離・施設偏重型施策が改善されるのでしょうか。法律の改正を目指す前に、私たちはどのような社会を目指すのか、そのためにはどのような家庭形成をしなければならないのか。古典「大学」には、修身・斉家・治国・平天下とうたわれています。まず大切なのは、ひとり一人がいかに生きるか、人生を全うするかという人生観・価値観が問われているように思われます。（敏）